



令和5年登米市 二十歳の集い

新たな門出を祝うかのような冬晴れに恵まれ、「令和5年登米市二十歳の集い」が1月8日、登米総合体育館で開かれました。

民法改正に伴い、令和4年4月1日から成年年齢が18歳に引き下げられたことから、これまでの式典名称「成人式」を今年から「二十歳の集い」としました。式典には、二十歳を迎えた608人が出席。色とりどりの振り袖やはかま、スーツに身を包んだ出席者たちで会場は華やかな雰囲気。学生時代を共に過ごした友人たちと再会を喜び合い、近況報告や思い出話、記念写真を撮影する姿が至るところで見られました。

式典では、熊谷盛廣市長が「皆さんの未来には無限の可能性が広がっています。勇気を持って、さまざまな可能性に挑戦してください」と式辞を述べました。出席者を代表し、誓いの言葉を述べた伊藤由華さん、米山町新田さんと佐藤由華さん、米山町畑崎さんは「これから私たちは、それぞれの人生を歩んでいきます。周りの人々への感謝の気持ちを忘れず、大人としての自覚と責任を持ち、夢や目標に向かって一層努力していくことを誓います」と決意を新たにしました。二十歳という節目を迎えた出席者の皆さんは、さまざまな思いと自覚を胸に、大人としての第一歩を踏み出しました。

愛してくれた人へ感謝と
恩返しをしたい

遊佐 愛さん
迫町山の上



私がこうして無事に二十歳という門出を迎えることができたのは、私を常に支えてくれた家族、切磋琢磨し共に努力してきた学友、温かく見守ってくれた地域の皆さんのおかげです。私に対していつも真剣に向き合い、優しい言葉や厳しい言葉をかけてくれる人がいることは決して当たり前のことではありません。私はこれから私を愛してくれた人への感謝を忘れず、恩返しができるようになりたいと思うとともに、お世話になった人々を愛していきたいと思えます。

私は今、大学に進学し、薬学を専攻し、薬剤師になることを目指しています。生まれ育ったふるさと登米市に貢献できるような、そして社会の一員として皆さんを支えることができるような存在になれるように精進したいと思えます。

私たちの地元「登米市」で活躍している人もいれば、他の地で活躍している人もいます。私たちが生まれ育った「登米市」をこれからも愛していきたいです。

二十歳の主張

両親のような素敵な夫
婦、尊敬される人に

森 駿天さん
南方町砥落



20年間を振り返ってみると、私は多くの人に恵まれました。幼い頃から大学生となった現在まで、いつも私の周りにはたくさんの方がいて、支えられ、笑わせてくれました。

今、私は作業療法士という職業を目指し勉学に励んでいます。作業療法士は患者さんがその人らしさを取り戻すための支援をします。患者さんとその家族を笑顔にする作業療法士を目指したいと思っています。

私がかっこいい背中とそれを支える母の姿を見てきました。私は胸を張って最高の両親のもとに生まれてきたと言えます。いつか両親のような素敵な夫婦に、尊敬される人になれるように頑張ります。二人へ言葉にできない感謝と愛を伝えたいです。

私たちは二十歳という大きな節目を迎えましたが、社会では経験が浅く、まだまだ未熟です。どうかこれからもご指導よろしくお願います。